

報道関係者各位

2022年9月12日
No1

トンガル水力発電プロジェクトにおいてインドネシア国営開発銀行 PT SMI とプロジェクトファイナンス契約の調印を実施しました。

株式会社新日本コンサルタントを基幹企業とする NiX グループは、2022年9月7日にインドネシア西スマトラ州で自社事業として建設中のトンガル水力発電プロジェクト（発電出力 6,200kW 相当）に向けたプロジェクトファイナンス契約を、国営開発銀行 PT. Sarana Multi Infrastruktur Persero（以下、SMI）と調印致しました。

今回の調印式には、SMI の融資・投資担当ディレクターの Sylvi Juniarty Gani 氏、エネルギー・鉱物資源省の通信・公共情報サービス協力局局長の Agung Pribadi 氏等が出席され、SMI の融資・投資担当ディレクターの Sylvi Juniarty Gani 氏から、「SMI は、国営開発銀行として、トンガル水力発電プロジェクトにおいてファイナンスを通してインドネシア、特に西スマトラ州の再生可能エネルギーミックスの増加、及び国の経済回復としてジャワ島以外の地域でも公平な開発インフラへの貢献を期待する」との言葉を頂きました。

また、エネルギー・鉱物資源省の通信・公共情報サービス協力局局長の Agung Pribadi 氏からは、「トンガル水力発電プロジェクトは、インドネシアの新たな目標である 2025 年までに再生可能エネルギー比率 23%以上を達成するためのプロジェクトであると同時に、2030 年までに国が決定する貢献目標（NDC）と、2060 年までにネットゼロエミッションを達成するという政府の誓約をサポートするものであり、今回の支援はインドネシア政府のアジェンダを実行するための重要な役割を担っており、トンガル水力発電プロジェクトの建設における SMI の努力に心から感謝している」との言葉を頂きました。（※上記コメントは、エネルギー・鉱物資源省のプレスリリースから引用）

本事業は NiX グループにとって、最初の海外自社水力発電事業であり、オーナーズエンジニアリングとして 3D・4D モデルなど最新技術を設計、施工管理に活用し、プロジェクトを進めています。また本事業は二国間クレジット制度（JCM）設備補助事業として、インドネシア政府と日本政府の 2 国間の協力の下実施しており、両国並びに周辺地域に社会的および環境的貢献を図ることも目的の一つとしています。

NiX グループでは、2020.7～2023.6 の 3 か年を対象とした中期経営計画「Growths 2nd Produce 50」において、地域社会インフラの強化やインフラ技術者の雇用維持・技術伝承、国内外での再生可能エネルギー事業を通じた脱炭素化への貢献・新興国の電力不足解消等の社会的課題を解決することで、経済的価値を同時に増大する「CSV 経営」をグループ経営方針に掲げています。今後もインフラコンサルティング事業や国内外での再生可能エネルギーの電源開発を通じ、【サステナブルな社会に必要なレジリエントな企業】を目指し、より一層地域に不可欠な企業となるよう努力いたします。

【プロジェクトファイナンス調印式】



New Infrastructure X



株式会社 新日本コンサルタント

■所在地 〒930-0857富山市奥田新町1番23号
■代表者 代表取締役社長 市森友明

■創業 昭和54年（1979年）4月
■資本金 8,000万円
■売上高 単体：35億8千万円（2022年6月期）
グループ：54億2千万円（2022年6月期）

■主な業務内容 総合建設コンサルタント、補償コンサルタント、測量調査業、新エネルギー開発事業
■従業員 単体：216名（正社員数191名）
グループ：342名

報道関係者各位

2022年9月12日
No2

トンガル水力発電プロジェクトにおいてインドネシア国営開発銀行 PT SMI とプロジェクトファイナンス契約の調印を実施しました。

【トンガル水力発電事業について】

本プロジェクトは、各種権利取得や国営電力会社 PT.PLN との売電契約締結など、2013 年以来インドネシア企業単独で開発を進めておりましたが、技術面や資金面での問題から、プロジェクトが行き詰まっていた中、弊社グループ（NIX インドネシア現地法人及び NIX 本社）による技術最適化及びプロジェクト資金支援を経て、問題を解消し、事業化した案件となります。2019 年 11 月に、NIX グループの NIX Holdings Singapore., LTD（シンガポール持株会社）を通し、事業主体である PT Optima Tirta Energy（OTE）社の株式を実質 75%（議決権ベース）取得し、現在は、マジョリティとして事業建設を進めており、2023 年初頭の商業運転を目標としています。

【PT. Sarana Multi Infrastruktur Persero について】

SMI はインドネシア財務省の 100%子会社である国営開発銀行として 2009 年 2 月に設立され、インドネシア国内のインフラ整備開発案件を促進するための役割を担っている開発銀行です。また、SMI は民間および多国間のさまざまな金融機関を含む政府および事業者の協力（PPP）スキームの実施を通じて、開発の成功要因として機能することを目指しています。SMI は、地方自治体向けの融資も活用し、PPP の実施を積極的に支援し、地域のインフラ整備の加速を促しています。

【トンガル水力発電所諸元】

事業実施場所	インドネシア 西スマトラ 西パサマン県
対象河川	トンガル川
発電出力	6,200kW
発電形式	流れ込み式、設計流量16m ³ /秒、有効落差44.4m
設備	3,100kW（横軸フランシス型水車）×2基
年間売電量	38.73GWh（インドネシア一般家庭46,000軒分）
総事業費	約15億円

【トンガル水力発電所位置地図】

